

仙美里発！北海道立農業大学校 Campus通信 No.44

前期を振り返り、農大の魅力をダイジェストで紹介！

農大祭・体育祭



【大盛況の一般公開】

7月1日～2日の2日間、「空前絶後の農大祭」をテーマに、第44回農大祭を開催しました。

1日目の体育祭は、天候にも恵まれ、実習で培った体力を余すことなく発揮し、熱戦が繰り広げられました。

2日目の一般公開は、来場された地域の皆さんも、焼き肉やカラオケ大会、クイズ大会と一緒に盛り上がりました。後夜祭では数年振りに打ち上げた250発の花火がフィナーレを演出しました。準備・運営に当たった実行委員の皆さんお疲れ様でした。



【腕相撲大会】



【後夜祭】



【体育祭】

農大行事フォトアルバム

4月 

入校式 4月6日



【入校生代表宣誓】



【入校生】



【在校生代表歓迎の言葉】

5月 

強歩大会 5月26日



【32.195km 今年もいろいろな思い出を身体にきざみこみました。】

7月 

オープンキャンパス 7月28日 8月19日



【学生が参加した方々を施設等にご案内し、説明や体験作業を行いました。】

9月 

帯広調理師学校収穫体験交流会 9月8日



【帯広調理師専門学校と農作物の収穫体験を通して交流】

学科トピックス

畜産経営学科



【応用先進農業機械学演習】
1年生はヤマアグリジャパン㈱で自動操舵トラクタについて演習



【本別町家畜品評会】
肉牛管理部が黒毛和種育成牛「くにかつはや」号を出陳し最高位を受賞



【人工授精実習】
家畜人工授精師講習会で直腸検査について実習

畑作園芸経営学科



【野菜即売会】
実習で栽培した野菜等の直売を通じて農産物の販売方法を学習



【農業機械実習】
学生がロータリの脱着を行い、安全な脱着方法を学習しました。



【調理師専門学校と交流会】
収穫体験を通じて帯広調理師専門学校の学生と交流

農業経営研究科



【農産先進事例調査】
農作物の栽培方法や加工販売方法について学習



【畜産先進事例調査】
放牧における飼養管理や草地管理、経営のポイントについて学習



【新商品（加工品）の販売実践】
地域のイベントで新しく商品開発した「istringチーズ」を販売

農大に入校して



畜産経営学科1年
森 俊介(遠別町出身)

農大に入校して5ヶ月が経過しました。私の実家は遠別町で酪農業を営んでいます。そのため高校より専門的で実践的な学習ができ、人工授精師や削蹄師などの資格も取得できることから農業大学校に入校しました。授業では、乳・肉牛の飼養管理方法や牛舎施設等の構造を学び、実習では実際に牛に触れながら学んでいます。ここでは、実習で様々な機械に乗ることも多く、トラクターや作業機も、同じ物でもメーカーが違うとレバーの位置や操作性、性能が異なるため、より多くの機械を操作し、自家に導入する際の参考にしたいと思います。また、先進農家体験実習では、自家とは気候や地形などが違う地域でどのような経営が行われているのか、どのような設備・機械を使用しているのか、さらに自家に導入できる設備はあるのかなど様々なことを学び将来の経営に活かしたいと思います。農大の在籍期間は2年間しかないので時間を大切にしていきたいです。



畑作園芸経営学科1年
梅津智也(美幌町出身)

私は、現在27歳で、商業高校卒業後サラリーマン生活をしていましたが、実家の農業を継ぎ、地域社会に貢献できる農家になるため、農大に入校しました。農大では、トラクターに乗って作業をしたり作物の防除や除草、野菜の収穫選果など、1年生のうちでもたくさんのことを実習します。自分の思いもよらない作業や作物に出会う事は楽しく、良い経験になります。私は、2年次のプロジェクトとして薬用作物を栽培したいと考えていますが、マイナーな作物のため、栽培は難しく、実現は不可能かと思いきや、職員のみなさんは私の意思を尊重し、挑戦をさせてくれています。このように、農大は学生それぞれの希望をできるかぎり実現させ、有意義な学びの機会を与えてくれる所です。その時間を無駄にしないためにも日々をしっかりと過ごし、来たるべき就農へ備えたいと考えています。



農業経営研究科1年
松村悠生(浦幌町出身)

私は拓殖大学短期大学の環境農学コースを卒業して、農業大学校農業経営研究科に入校しました。研究科と拓殖大学の大きく違うところは、夏の実習期間が長いところです。自分の研究したい課題を実習から学びます。私は、畑作物の中に野菜を導入したいという思いから、ブロッコリーの栽培について現在研究しています。実習では前半にブロッコリー農家に栽培技術を学びに行きました。後半は自家実習の中で自家の経営を把握しながら、企業や先進農家に視察にいき、視野を広げることができました。

研究科は、学生の中に色々な考えを持っている人がいるので、話し合いの中に新しい発見があると自分の力にもなります。研究科は自由に楽しく自分の研究が出来るので、これからもしっかり研究していきたいです。



稲作専攻コース1年
佐藤晴希(旭川市出身)

私たちが稲作経営専攻コースに入学して早くも半年が経ちました。今年の稲作経営専攻コースは10人(うち女性1人)で仲良く協力しながら農業大学校、拓殖大学北海道短期大学のカリキュラムをこなしています。拓大では座学で農業基礎、実習で農作物栽培を学んでいます。農大では夏期集中講義として農業簿記や農業機械について学び、滝川市の花・野菜技術センターではホクレンや農業試験場の視察など、稲作以外の農業知識についても幅広く勉強しました。集中講義の3週間は10人で寝食を共にし、さらに絆を深めることができました。両校のカリキュラムを通して、稲作にさらに興味を抱き、将来稲作をやりたいと強く思うようになりました。

あと1年半という学生期間を10人でお互い協力しあって、自分の将来に向け充実した学校生活を過ごしていきたいです。